

マスタークラス（FPV）

予選

- ・タイムアタック方式
- ・飛行制限時間:3分
- ・1機によるコース5周周回。飛行後、スタートゲート通過時よりタイム計測開始。
- ・予選上位9名が本線に進出。
- ・競技中の機体変更及びパーツ変更は可。ただし、機体検査時において、複数機の事前登録が必要。
- ・ペナルティは、フラッグのショートカット及びゲート未通過の場合、ゴール後のタイムにそれぞれ5秒を加算する。
- ・上記方法は、参加人数や進行の都合上余儀なく変更する場合がある。

本戦

- ・トーナメント方式
- ・予選上位9名による準決勝とする。
- ・3機1グループによる一斉スタート後、5周周回。最上位者を決勝進出とする。
- ・各3グループの最上位者で5周周回、3機による決勝戦とする。
- ・ペナルティは、フラッグのショートカット及びゲート未通過の場合、ゴール後のタイムにそれぞれ5秒を加算する。
- ・準決勝及び決勝の競技中にクラッシュしてしまった場合は、自力飛行で戻れる場合を除き、その時点でリタイアとなり、競技終了までディスプレイ状態にて待機すること
- ・上記方法は、参加人数や進行の都合上余儀なく変更する場合がある。

レギュラークラス（目視）

本戦

- ・飛行距離競技方式
- ・飛行制限時間:3分
- ・予選なし、本戦のみとする。
- ・1機による周回の飛行距離を競う。飛行後、スタートゲート通過時より飛行距離を計測を開始。
- ・上位3名が入賞。
- ・競技中の機体変更及びパーツ変更は可。ただし、機体検査時において、複数機の事前登録が必要。
- ・ペナルティは、フラッグのショートカット及びゲート未通過の場合、ゴール後の飛行距離にそれぞれ5m減ずる。
- ・上記方法は、参加人数や進行の都合上余儀なく変更する場合がある。
- ・上記方法は参加人数や進行の都合上変更する場合がある。

マスタークラス (FPV)

資格:

- ①5.6GH無線局免許状コピー
- ②無線従事者免許(および第四級アマチュア無線技士相当の資格)
- ③保険加入

機体:

- ・送信機(プロポ)は技術基準適合証明等を受けた機器に限る(技適)
- ・FPV周波数:5705MHz、5740MHz、5800MHzの3波のいずれかを使用する。
(特別な理由がある場合を除き、レース進行上主催者側が必要とした場合、指定した上記3波のうち最低2波への周波数へ適時変更できること)
- ・機体(モーター対角線上の距離) : 最大250mm 最少制限なし
- ・プロペラ : 最大5インチ 3枚プロペラ使用可
- ・バッテリー : 最大3S リポバッテリー 1セルあたり最大4.2V
市販の3S=11.1Vのバッテリーを使用。
充電後の電圧上昇は1セルあたり4.2V以下。
HVバッテリーの使用は不可。
- ・モーター : 3もしくは4個まで。
モータースラスト角:0度厳守。スラストプレート追加禁止。
モーターマウントチルト禁止。
- ・オンボードカメラ: 搭載必須。720P 30フレーム以上。推奨:1080P 60フレーム
- ・LED : 搭載任意。
- ・トランスポンダー: 搭載不要。

レギュラークラス (目視)

- ・機体(モーター対角線上の距離) : 最大330mm 最小制限なし
参考:ファントム3サイズは参加可
- ・プロペラ : 最大9インチ 3枚プロペラ使用可
- ・バッテリー : 最大4S リポバッテリー 1セルあたり最大4.2V
市販の4S=14.8Vのバッテリーを使用すること。
充電後の電圧上昇は1セルあたり4.2V以下。
HVバッテリーの使用は不可。
- ・モーター : 3もしくは4個まで。
モータースラスト角:0度厳守。スラストプレート追加禁止。
モーターマウントチルト禁止。
- ・オンボードカメラ: 搭載任意。
- ・LED : 搭載任意。
- ・トランスポンダー: 搭載不要。